

しろね大風と歴史の館

基本設計決まる

でつかいスケールで

「風のまち白根」をアピール

「大風合戦」を生かしたまちづくり

ふるさと創生事業として、白根総合公園内に建設する「しろね大風と歴史の館」の基本設計が決まりました。

「しろね大風と歴史の館」は、本市を代表する伝統行事「大風合戦」を生かした、まちづくりの拠点施設として整備するもの。大風をはじめ、国内外の風の展示や民俗資料の展示を行い「風のまち白根」のイメージアップと観光客の誘致、地域文化の高揚を図る施設です。

建設用地は白根総合公園の一画で、カルチャーセンターへの入り口道路の南側。敷地面積は、七千九百平方メートル。建物は、鉄筋コンクリート（一部鉄骨）構造の二階建てで、建築面積は一千五百四十二平方メートル、延べ床面積は二千六百五十九平方メートルです。建物は敷地の南西に寄せ、北側

に駐車場、東側には庭園を予定しています。

施設のシンボルは 円形の展示ホール

基本設計では、入り口を東側に設け、カルチャーセンターと向き合う形となります。施設のシンボルとなる円形の展示ホールを中央に置き、この展示ホールを挟んで、北側に風展示室、南側に歴史・民俗展示室を配置します。

また、大風合戦の様態や白根の四季を立体映像で紹介する映像展示室を一階に設けます。百二十センチのスクリーンから映し出される立体映像は、鮮明な画面で迫力満点。いつでも来場者に大風合戦を楽しんでもらうことができます。さらに、いろいろな企画に対応するため、特別展示室を一階入り口付近に設けます。

体験しながら 学べる施設

展示ホールは円形の高さ約十五メートルの吹き抜けの空間で、壁面が総ガラスのこの施設の核となるもの。上部に大風を展示するのに十分な高さを持ち、空に舞う大風を再現します。来場者は展示ホールからスロープ式の階段を昇降しながら、上部に展示してある大風を、角度を変えながら眺めていくこととなります。風展示室には、白根風の紹介、風の歴史、世界・日本の風や創

作風の紹介、風の科学と遊びなどのコーナーを設置します。風作りを体験したり、風が揚がる原理が分かる実験装置を設置したりしながら、見て、体験できる施設にする予定です。歴史・民俗展示室には、水との関いを中心とした市の歴史、考古の白根、産業の変遷などのコーナーを設置します。展示は年表や写真、ビデオ、模型などを活用して分かりやすく表示し、来場者から昔の暮らしや産業を体験できるように考えます。

市では、この基本設計をさらに検討し、実施設計を作成。今年中には着工する考えです。また、風資料、歴史・民俗資料の収集整理を進め、全国に誇れる施設を目指して建設事業を進めていきます。

風に関する情報を お寄せください

風収集展示委員会では、昔の大風合戦の写真や資料、珍しい風などの情報を集めています。市民の皆さんのご協力をお願いします。問い合わせ 商工観光課 観光物産係（☎373・2111 ☎308、309）

